



# 大分合同新聞 ワークシート

年 組 氏名

# 市中心部が焦土と化す

## 午前0時過ぎから1時間20分



空襲で多くの建物が焼失した大分市街地。現トナホ本店から北西方面を撮影。右下は被災した現大分銀行本庁舎。1946年2月、水峯撮影。豊の国歴史市街地保存会蔵。

大分市の人口密集地が無差別空襲を浴びた「大分空襲」を特集します。

(小林大輔)

太平洋戦争末期の1945年7月17日、大分市は米軍大型爆撃機B29による大規模な焼夷弾攻撃を受けた。午前0時過ぎから1時間20分に及ぶ爆撃で、市中心部が焦土と化した。

B29は約2500機、離れたサイパン島から飛来。計124機が上空約3千〜3500mから2万2922発を投下した。油脂燃料が飛散するナバーム弾が使われ、市街地一帯に火災が広がった。

死者49人、負傷者122人。防空壕への直撃弾や、体に付いた燃料の火に焼かれるなどして死傷する市民が相次いだ。家屋は2358戸が全焼、1330戸が半焼し、焼け出された人は1万730人になった。

府内城跡(現大分城址公園)にあった県庁をはじめ多くの官公庁、学校、病院、銀行なども被災した。

米軍は当時、日本の戦争継続能力を弱くするため地方都市を次々に空襲していた。翌18日に市内を視察した内務省の灘尾弘吉次官(元大分県知事)は「全国各地方はやられるだろうが、こんなひどいところはない。あまで戦い抜く気迫と、断じてへこたれぬ粘りがある。必勝の道が開ける」と語った。

# 昭和通りに「爆撃中心点」

空襲の被害は広範囲に及んだ。特に現在の中央通り(西側にある中央町や都町)は多数の焼夷弾が落ち、密集する木造建築物が焼き払われた。



※現在の衛星写真を用い、どこに空襲があったかが分かるようにした。被害箇所は国立公文書館所蔵「全国主要都市の空襲状況図」に基づき一部不明瞭な所もある。

大分空襲に詳しい大分の神戸種夫名誉教授(86)の顔写真。大分市が攻撃目標になった理由を「豊線、豊大線という鉄道が結節する重要地点であり、航空機の修理・整備を担う海軍の工場や、陸軍の練兵場などの」



大分合同新聞 2025年7月16日(水) 朝刊20面

# 米軍、中小都市に狙い切り替え

## 人口規模ベースに順位付け

B29爆撃機を運用するサイパン島などマリアナ諸島の米軍部隊は、1945年6月中旬までに大都市への攻撃を一通り終え、各地の中小工業都市に狙いを切り替えていた。

四つの航空団を同時に動かし、一晩に4都市を爆撃する作戦を展開。7月16〜17日は9回作戦で▽大分市▽三重県桑名市▽静岡県沼津市▽神奈川県平塚市を襲った。米軍はこの頃、人口規模を

ベースに東京を筆頭とする全国180都市を順位付けしたリストを作っていた。大分県内は▽大分(63位)▽別府(77位)▽日田(137位)▽佐伯(155位)▽中津(174位)一が拳がっていた。

空襲は必ずしも順位通りではなく、軍需工場の有無などを考慮して目標を選んだ。既に打撃を与えた大都市や、原爆投下の候補地などは目標から外された。

米軍は戦後、爆撃の効果現地調査。1・09平方キロを火災で破壊したと判定した。他の都市と比べて死傷者数は少なく、調査団はその理由として、空襲前に雨が降っていたことや、事前に多くの女性や子どもが避難していたことを挙げた。

軍事拠点もあった」と説明する。既に日本の敗戦は決定的な状況で、「東京大空襲があった3月から、国内の犠牲者は急激に増えた。だが、もう一度戦果を挙げよう」という「一撃調和」に固執して戦争を続け、結果的に8月の原爆投下までいってしまっただと述べた。

この特集は戦中・戦後の本紙掲載記事のほか、主に次の文献を参考にした。

- 参考文献
(1945年) 国立国会図書館デジタルコレクションより「天分戦史」(63年、86年)
▽大分の空襲を記録する会編「大分の空襲」(73年連載、75年出版)
▽奥住善重、工藤洋三著「米軍資料 大分空襲の記録」(99年)



大分合同新聞  
ワークシート

年 組 氏名

---

〔問①〕 大分市の人口密集地が無差別空襲を受けた「大分大空襲」があったのはいつですか？

しょういだん

〔問②〕 大規模な焼夷弾攻撃を行ったアメリカ軍の大型爆撃機B29はどこから飛来しましたか？

〔問③〕 記事では、アメリカ軍は現在のどの地点に「爆撃中心点」を設定したと書いてありますか？

〔問④〕 無差別空襲を伝える記事を読み、あなたはどんなことを感じましたか？自分の意見、考えをまとめてみましょう。